

研究、スポーツ、趣味、特技...。学内外のさまざまな場面で活躍する岡大生たち。そんなキラリと光る学生を、同じ学生の目線から紹介する。

# 岡嶋省悟

経済学部4年

OKAJIMA SHOGO



## 就活生の“道しるべ” 応援サークル「就活オ・レ！」

就職活動（就活）には「決まりがない」と言われる。就活生は各自が目指す「内定」というゴールに向け、選考の日程も方法も違う戦いに挑むことになる。それだけに活動の初期は、何かを始めれば良いか分からない就活生も多いはず。右も左も分からない就活生にエントリーシート（企業採用選考への応募書類）の書き方、筆記試験、グループディスカッションといった就活セミナーの開催や個別の相談などを通じ、「道しるべ」となって応援するサークルがある。その名も「就活オ・レ」。活動のコンセプトは「岡大の就活を盛り上げる」だ。

結成は2008年。岡大の就活を盛り上げることで、岡大全体を盛り上げようと考えた学生が集まったのがきっかけだった。当初は10人ほどでスタートしたが、現在は約40人が所属。3年生が主体となり、就活を終えた4年生のフォローを受けながら、サークル活動と自身の就活を両立している。

「ゆくゆくは1、2年生にも関わってもらい、大学全体を巻き込み、キャリア開発を盛り上げていけるような組織にしたい」と話すのは、「就活オ・レ」代表の岡嶋省悟さん（経済学部4年）。最終目標は「チーム岡大を創る」こと。今は、その目標へ向けて階段を上がっている段階という。サークルが情報発信する公式ツイッターのフォロワーは500人を超え、主催するセミナーには仕事を休んで駆けつけてくれるOB・OGも出てきた。活動に確実な手応えを感じる日々だ。

### 「後輩のため何かできれば」 経験生かし就活支援

た。そんな経験が「実際の就活で生きた」と話す岡嶋さん。セミナーなど人前で話したことや、企業の人事担当者に直接取材をしたことが「面接での度胸につながった」という。自分が書いた企業紹介冊子を面接に持参し、披露することもあった。

サークル活動の中で多くの先輩と話し、「地元で自分の能力を生かしたい」という気持ちから芽生え、希望の就職先は地元の金融機関に絞った。地道な活動が実り、見事、希望通りに内定を

サークルでは、内定者・先輩社員によるアドバイス会や企業の人事担当者の体験面接を受けられるセミナーの開催、企業紹介冊子の取材・発行などを行っ



決めた。

岡嶋さんは「先輩に助けられ、仲間と切磋琢磨する中で自分も成長し、納得のいく就活にすることができた。サークル活動が自分自身を考え直すきっかけになった」と振り返る。社会人としてのスタートの前に、「後輩のため何かしたい」。そんな思いで今も活動を続けている。

つらいときに仲間や先輩が手を差し伸べてくれる環境は、就活に悩む学生たちにとってこの上なく、心強いものになるだろう。これから就活を始める人も、進路に迷っている人も、「就活オ・レ」が活動するキャリア開発センターに足を運んでみてはいかがだろうか。



インタビュー  
岡山大学学生広報スタッフ  
経済学部経済学科4年  
佐野 恭平